

令和4年度 第1回 賀茂地域医療構想調整会議 議事録

日 時：令和4年7月14日(木)

午後7時～8時30分

(WEB開催)

○議 題

1 地域医療構想の推進に関する医療機関の具体的方針

- ・公立病院においては、昨年度末に総務省が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「公立病院経営強化プラン」を来年度までに作成することとなっている。
 - ・公立病院経営強化プランは、平成28年度に各公立病院が策定した新公立病院改革プランの後継版として作成することとなっており、病床の機能分化や連携強化、医師や看護師の確保と働き方改革、新興感染症対策などについて、新たに盛り込むこととなっている。
 - ・公立病院以外の公的医療機関（伊豆今井浜病院、西伊豆健育会病院）、既に各公的医療機関で策定済みの「公的医療機関2025プラン」について、公立病院経営強化ガイドラインの内容を踏まえ、新興感染症対策等を盛り込むなど、公的医療機関2025プランの見直しを行う。
 - ・民間の病院も公的医療機関と同様、策定済みの対応方針について見直しを行う。
- *特に意見はなく、議長が諮ったところ異議なく承認された。

2 賀茂医療圏（構想区域）における今後の医療提供体制の在り方について

（竹内アドバイザーから資料に基づき説明）

- ・賀茂圏域は、圏域内で医療が完結せず、他圏域（駿東田方圏域）に患者が流出している。
- ・医師偏在指標では、賀茂医療圏は県内で最も低い。
- ・高齢者の単独世帯が非常に多い。
- ・入院患者数が既にピークを過ぎている一方、訪問診療については今後増加する。
- ・人口が減少しても、周産期や小児医療等地域の生活のため維持しなければならないものもある。
- ・天竜区では、看護師が在宅患者を訪問し、ICT機器を通じて医師が診療する事業を実施している。賀茂地域にも参考になるのではないか。

【意 見】

| | |
|------|---|
| 小田委員 | ・ICTを活用した訪問診療と言うことだが、高齢の方は、ICT機器に抵抗があることが多いと思う。看護師が指導することにより、スムーズに使っていただけるのか。 |
|------|---|

| | |
|----------|--|
| 小林アドバイザー | <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域では、病院が地域の支援病院的な役割に加え在宅も含めてやらざるを得ない。 ・総合診療を担う医師の確保が重要である。 |
| 仲田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・西伊豆健育会病院でも、県から iPad を借りて、山間の大沢里と病院を繋いで、双方向で診療をしている。 ・看護師と事務員が現地に赴き、医師は病院から薬剤指導やリハビリ、食事の指導までできるので、非常に有意義であった。 |
| 本間委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・下田市、南伊豆町の住民は、三次救急病院まで搬送に時間を要してしまう。 ・ドクターヘリの活用は有効であるが、夜間は飛行できないなどの制限があるため、課題が残る。 |

○報告

次の1～4について事務局から、それぞれ資料に基づき報告し、情報共有を図った。

- 1 令和3年度病床機能報告
- 2 外来機能報告制度及び紹介受診重点医療機関
- 3 地域医療介護総合確保基金
- 4 地域医療構想の実現に向けた重点支援区域